

血液学的検査(血液一般検査, 原虫)

項目コード	検査項目	検体・必要量(mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料区分	備考	報告日数	
血液一般検査									
5001	白血球数(WBC)	血液 2.0 冷	5	電気抵抗検出方式	3,300~9,400 / μ L	21 血	溶血, 凝固検体は不可 MCV(平均赤血球容積) 85~99 fl MCH(平均赤血球色素量) 29~36 pg MCHC(平均赤血球色素濃度) 31~36 % 緊急報告値 WBC 1,000 / μ L 以下 25,000 / μ L 以上 Hb 5 g/dL 以下 Ht 15 % 以下 Plt 3×10^4 / μ L 以下 100×10^4 / μ L 以上	1~3	
5002	赤血球数(RBC)			電気抵抗検出方式	M: 440~560 $\times 10^4$ / μ L F: 390~510 $\times 10^4$ / μ L				
5003	色素量(Hb)			比色法 (SLS-Hb法)	M: 13.5~17.0 g/dL F: 11.7~15.5 g/dL				
5004	ヘマトクリット値(Ht)			赤血球パルス検出方法	M: 41.0~51.0 % F: 35.0~45.0 %				
5008	血小板数(Plt)			電気抵抗検出方式	$13.5 \sim 37.5 \times 10^4$ / μ L				
5009	網赤血球数(Ret)			Brecher法	5~15 ‰				12 血
5010	好酸球数(Eos)			電気抵抗検出方式	70~440 / μ L				17 血 ※1
5020	白血球分類	自動化法	自動化法	Eosino 0~7 % Baso 0~2 % Neutro 38~71 % Lympho 20~47 % Mono 0~8 %	15 血 ※1	緊急報告値 芽球 30 % 以上	1~3		
5050		血液像鏡検法	塗抹標本 2~3枚 未固定 室	75	鏡検法 (ライト・ギムザ染色法)		Eosino 0~5 % Baso 0~1 % Stab 1~14 % Seg 37~57 % Lympho 20~47 % Mono 0~8 %	25 血 ※1	1~3
5130	LE細胞	血液 10.0 室	3	Magath-Winkleg の凝血法	(-)		凝固阻止剤を使用しないで採血し、全血で提出して下さい 他の検査との共用は避けて 単独で提出して下さい	1~3	
原虫									
5140	マラリア原虫鏡検	厚層・薄層 塗抹標本 各2枚 室	75	鏡検法 ギムザ染色法	(-)	40 血	厚層標本は血液一滴を1cmの円にして乾燥して下さい	2~3	
5141	フィラリア鏡検	厚層・薄層 塗抹標本 各2枚 室	75		(-)	40 血	深夜に採血して下さい	2~3	

※1 同一検体について、好酸球数と末梢血液像の検査を行った場合は、主たる検査の所定点数のみ算定

血液学的検査(骨髓像・特殊染色, 凝固・線溶系)

項目コード	検査項目	検体・必要量 (mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料区分	備考	報告日数
骨髓像・特殊染色								
5300	骨髓像	塗抹標本 2~3枚 (未固定) 室	75	鏡検法 (ライト・ギムザ染色法)		812 血		3~5
5210	ALP染色	1項目につき 塗抹標本 2~3枚 室	75	朝長法	170~368 score	血液像 各27 加算 骨髓像 各40 加算		3~5
5201	ペルオキシダーゼ染色			α ナフトール・ブ リリアントクレシ ル青法				3~5
5220	PAS染色			Wisiocki法				3~5
5230	鉄染色			Mc.Fadzean 簡易法				3~5
5260	SBB染色			Sheehan& strorey変法				3~5
5241	エステラーゼ染色			Li法 α -NB・N-ASDCLA 二重染色法				3~5
5242	エステラーゼ染色NaF抑制 試験			Li法 α -NB・N-ASDCLA 二重染色法				NaF抑制試験はエステラーゼ 染色とセットでご依頼下さい
凝固・線溶系								
5540	アンチトロンビンⅢ(AT-Ⅲ)	血漿 0.4 凍※	8 ↓ 1	合成基質法	80~130 %	70 血	採血後遠心分離、血漿分離し 凍結保存して下さい A	2~3
5520	FDP (フィブリン分解産 物)	血漿	8 ↓ 1	ラテックス凝集法	5 μ g/mL 以下	80 血	採血後遠心分離、血漿分離し 凍結保存して下さい A	2~4
5525		尿	12					
5522	D-Dダイマー	血漿 0.3 凍※	8 ↓ 1	ラテックス凝集法	1.0 μ g/mL 以下	133 血	採血後遠心分離、血漿分離し 凍結保存して下さい A	3~4
5501	PT (プロトロンビン時間)	血漿 0.4 凍※	8 ↓ 1	Quick一段法 (ドライケミスト リー法)	9.0~13.0 秒 70% 以上	18 血 ※1		2~3
5505	APTT (活性化部分トロンボプラスチン時間)	血漿 0.4 凍※	8 ↓ 1	エラジン酸活 性化法	26.0~38.0 秒	29 血	採血後遠心分離、血漿分離し 凍結保存して下さい	2~3
5510	フィブリノゲン	血漿 0.4 凍※	8 ↓ 1	トロンビン法	170~410 mg/dL	23 血		2~3 A
5532	トロンボテスト (TT)	血漿 0.4 凍※	8 ↓ 1	血漿法	70.0% 以上 治療域 10.0~20.0 %		採血後遠心分離、血漿分離し 凍結保存して下さい 経時変化が大きいので必ず 凍結保存 A	2~3
5151	TK活性 (デオキシチミジンキナーゼ活性)	血清 0.5 凍※	2 ↓ 1	CLIA法	7.5 U/L 以下	233 血	造血器腫瘍の診断又は治療 効果判定のために行った場 合算定 A	3~4

※ 前日までにお問合わせ下さい

65ページ出血・凝固参照

※1 トロンボテストとプロトロンビン時間を同時に測定した場合、主たるもののみ算定

血液学的検査(凝固因子, 血小板機能, その他)

項目コード	検査項目	検体・必要量 (mL)と保存	容器	検査方法	基準値	実施料区分	備考	報告日数
凝固因子								
5552	第Ⅱ因子活性	1項目につき 血漿 0.3 凍※	8 ↓ 1	ヒト欠乏血漿 による補正法	66.0～118.0 %	223 血	採血後遠心分離、血漿分離し 凍結保存して下さい 溶血不可	3～6
5553	第Ⅴ因子活性				73.0～122.0 %	223 血		
5554	第Ⅶ因子活性				54.0～162.0 %	223 血		
5555	第Ⅷ因子活性				78.0～165.0 %	223 血		
5556	第Ⅸ因子活性				67.0～152.0 %	223 血		
5557	第Ⅹ因子活性				58.0～200.0 %	223 血		
5558	第ⅩⅠ因子活性				75.0～137.0 %	223 血		
5559	第ⅩⅡ因子活性				36.0～152.0 %	223 血		
5560	第ⅩⅢ因子(抗原量)			ラテックス凝集法	70～140 %	223 血	A	3～4
血小板機能								
5580	血小板第4因子 (PF-4)	血漿 0.6 凍※	15 ↓ 1	EIA法	20.0 ng/mL 以下	178 血	予め氷水中につけた専用容器に 4.5mL採血し転倒混和 再び氷水中に戻し15分以上静置 し、1時間以内に3,000rpm30分間 冷却遠心し上清の中程から必要 量を採取し凍結保存し、単独検体 で提出して下さい A	4～7
5575	β-トロンボグロブリン (β-TG)	血漿 0.6 凍※	15 ↓ 1	EIA法	50.0 ng/mL 以下	177 血		4～7
その他								
5570	フォン・ウィルブランド因子	血漿 0.3 凍※	8 ↓ 1	固定血小板凝集法	50～150 %	132 血	採血後遠心分離、血漿分離し 凍結保存して下さい 検査項目ごとに単独検体で提 出して下さい	3～6
5597	第Ⅷ因子インヒビター定量	血漿 1.0 凍※	8 ↓ 1	Bethesda法	1.0 BU/mL 以下	148 血		3～6
5599	第Ⅸ因子インヒビター定量	血漿 1.0 凍※	8 ↓ 1	Bethesda法	1.0 BU/mL 以下	148 血		3～6
5550	可溶性フィブリンモノマー複合体 (SFMC)	血漿 0.3 凍※	8 ↓ 1	ラテックス凝集法	(-)	93 血		3～6
5596	プラスミン-α ₂ -プラスミンインヒビター複合体 (PIC)	血漿 0.3 凍※	8 ↓ 1	ラテックス凝集法	0.8 μg/mL 以下	158 血		3～4
5585	プロテインC活性	血漿 0.3 凍※	8 ↓ 1	合成基質法	70～140 %	241 血		A
3229	PIVKA-II 精密測定	血清 0.6 冷	2 ↓ 1	CLIA法	40 mAU/mL 未満	139 生Ⅱ	A	3～4
5598	トロンビン-アンチトロンビンⅢ複合体 (TAT)	血漿 0.4 凍※	8 ↓ 1	CLEIA法	4.0 ng/mL 未満	181 血	採血はスムーズに行い、1時 間以内に遠心分離(スムーズ でない場合、高値を示します) -20℃以下に凍結保存 A	3～4

※ 前日までにお問合わせ下さい

65ページ出血・凝固参照